



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月31日

上場会社名 株式会社東邦システムサイエンス 上場取引所 東  
 コード番号 4333 URL <https://www.tss.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小坂 友康  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画本部長（氏名） 砂賀 昌代（TEL）03（3868）6060  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,273	8.3	332	1.2	336	1.3	231	1.1
2024年3月期第1四半期	3,944	8.0	328	△1.5	332	△1.4	228	△1.5

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	12.68	—
2024年3月期第1四半期	12.56	—

（注）当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	13,639	9,253	67.8	507.08
2024年3月期	13,477	9,365	69.5	513.18

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 9,253百万円 2024年3月期 9,365百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		20.00	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,536	6.7	734	6.1	738	6.0	513	8.8	28.07
通期	17,800	9.3	1,700	8.0	1,710	8.0	1,189	9.9	64.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	20,798,988株	2024年3月期	20,798,988株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,549,458株	2024年3月期	2,548,608株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	18,249,950株	2024年3月期1Q	18,220,689株

(注) 当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を記載しております

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料はTDNetで2024年7月31日 (水) に開示し、同日当社ウェブサイトに掲載いたします。  
 決算説明 (動画付) につきましては、2024年8月2日 (金) に当社ウェブサイトに掲載いたします。  
<https://www.tss.co.jp/ir/tabid/546/Default.asp/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
3. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあり、経済活動の正常化が進展し、緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇や為替変動による影響、海外経済の下振れ懸念等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス産業におきましては、特定サービス産業動態統計（2024年5月分確報）によると、売上高は前年同月比3.9%増で26か月連続の増加、受注ソフトウェアにおけるシステムインテグレーションは同4.4%増となりました。企業のIT投資は、その中心をDX（デジタルトランスフォーメーション）による業務プロセス・業務システムの変革へと移行してきており、引き続き拡大傾向にあります。

このような環境のもと、当社は「長期経営ビジョン2030」（2022-2030）並びに「中期経営計画」（2022-2027）に基づき、「お客様と共に未来を創る」をスローガンに掲げ、以下を重点施策に取り組みました。

- ① 営業力の強化
- ② 開発力の強化
- ③ デジタルビジネスへの注力
- ④ 事業ポートフォリオの変革
- ⑤ サービスビジネスの構築
- ⑥ 資本コストと株価を意識した経営の推進とコーポレートガバナンスの高度化対応
- ⑦ サステナビリティ経営の推進
- ⑧ M&Aによる事業規模拡大の検討

受注面では、DX案件が活況な非金融ソリューションにおいて、幅広い領域で新規案件の獲得に注力しながら、一方では、金融ソリューションを中心に開発規模の大きな基幹系刷新案件の受注に努め、トップラインの向上を図ってまいりました。それにあたっては、売上計画値に対して、既に受注している案件を除き、三重の引き合い案件を獲得すべく、営業活動や引き合いの見える化に取り組み、戦略的な営業を展開してまいりました。また、安心安全な未来社会をデザインすべく、電気機器メーカー様に対し災害時に従業員の安否確認を行えるサービスの提供を図るなど、新たなサービス提供型ビジネス領域の獲得に努めてまいりました。

生産面では、新卒採用と並行して中途採用を強化しプロパー社員の増強を目指すとともに、パートナー会社との関係強化を図り開発力を増大させてまいりました。中途採用として育成型の第二新卒採用を開始し、新卒採用と合わせ今春65名を新入社員として迎え入れ、Java言語及びアジャイル開発の習得を進め、早期戦力化を図っております。パートナー戦略では、引き続きパートナープール制度を活用し、継続的かつ安定的な技術力の確保に努めております。また、DX開発推進センター（DXを中心とした開発を社内で担う内製化組織）では前年度に比べ受注量を確実に増加させることが出来ており、DX人材のOJT育成を効率的に行うとともに、人的リソースの有効活用を図ることで企業競争力の更なる向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は4,273百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は332百万円（同1.2%増）、経常利益は336百万円（同1.3%増）、四半期純利益は231百万円（同1.1%増）となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりです。

(ソフトウェア開発)

イ 金融ソリューション

当社の強みである金融業務知識とIT技術の融合により、顧客に対し新事業の創出やITコストの最適化を図ってまいりました。各領域の業績は下記の通りであり、金融ソリューションの売上高は3,048百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

領域	売上高（前期比）	売上高増減要因
銀行	733百万円 (29.9%増)	大手銀行のDX化推進 ネットバンキング、次世代RTGSシステム案件拡大
証券	315百万円 (5.6%減)	スマホ系証券の案件対応の区切り ほふり関連対応案件参画
生命保険	595百万円 (8.0%減)	次期基幹システム案件の区切り フロントシステム開発体制の拡大
損害保険	1,036百万円 (5.4%減)	基幹システム刷新案件の区切り
その他金融	367百万円 (46.9%増)	カード・クレジット領域でのDX案件拡大 政府系機関の基幹システム刷新案件体制拡大

ロ 非金融ソリューション

活況なDX対応ニーズに応えるべく技術オリエンテッドな志向で案件の受注に努め、法人顧客に対する業務の効率化やマーケティング支援、コンシューマーのサービスレベル向上に努めてまいりました。通信領域において大規模開発のピークアウトがあったものの、公共領域においては行政手続きのオンライン化や運輸、情報サービス、建設等の領域で新規顧客の獲得や領域開拓が進んだことで非金融ソリューションの売上高は1,136百万円（同19.8%増）となりました。

以上の結果、ソフトウェア開発の売上高は4,184百万円（同9.0%増）となりました。

(情報システムサービス等)

モバイル証券会社におけるクラウドベースのシステム運用及び監視サービス業務は継続したものの、通常の運用保守サービスが減少した情報システムサービス等の売上高は88百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ162百万円増加し、13,639百万円(前期比1.2%増)、負債合計は、前事業年度末に比べ274百万円増加し、4,385百万円(同6.7%増)、純資産は、前事業年度末に比べ111百万円減少し、9,253百万円(同1.2%減)となりました。各項目別の分析等につきましては次のとおりであります。

① 流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ71百万円増加し、12,080百万円(前期比0.6%増)となりました。これは主として、現金及び預金が96百万円、仕掛品が31百万円増加し、売掛金及び契約資産が53百万円減少したことによります。

② 固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べ90百万円増加し、1,558百万円(前期比6.2%増)となりました。これは主として、投資有価証券が33百万円、繰延税金資産が66百万円増加したことによります。

③ 流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ237百万円増加し、2,289百万円(前期比11.6%増)となりました。これは主として、未払費用が444百万円増加し、賞与引当金が171百万円減少したことによります。

④ 固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べ36百万円増加し、2,095百万円(前期比1.8%増)となりました。これは退職給付引当金が36百万円増加したことによります。

⑤ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ111百万円減少し、9,253百万円(前期比1.2%減)となりました。これは主として、四半期純利益231百万円を計上したこと、剰余金の配当により365百万円の減少があったことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,747,227	9,843,903
売掛金及び契約資産	2,183,605	2,129,616
仕掛品	3,863	35,258
その他	80,715	78,298
貸倒引当金	△6,574	△6,419
流動資産合計	12,008,837	12,080,657
固定資産		
有形固定資産	86,295	82,705
無形固定資産	37,067	33,395
投資その他の資産		
投資有価証券	509,948	543,250
繰延税金資産	707,690	774,088
その他	132,930	131,073
貸倒引当金	△5,675	△5,675
投資その他の資産合計	1,344,895	1,442,737
固定資産合計	1,468,259	1,558,838
資産合計	13,477,096	13,639,496
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	903,430	952,216
未払金	101,905	55,823
未払費用	148,660	593,053
未払法人税等	279,118	199,909
賞与引当金	369,518	197,955
受注損失引当金	27,664	25,402
製品保証引当金	—	7,000
その他	222,091	258,413
流動負債合計	2,052,388	2,289,773
固定負債		
退職給付引当金	2,031,263	2,068,013
その他	27,760	27,760
固定負債合計	2,059,023	2,095,773
負債合計	4,111,412	4,385,546
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	620,426	620,426
利益剰余金	8,513,049	8,379,390
自己株式	△596,184	△597,372
株主資本合計	9,063,874	8,929,028
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	301,809	324,920
評価・換算差額等合計	301,809	324,920
純資産合計	9,365,684	9,253,949
負債純資産合計	13,477,096	13,639,496

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,944,404	4,273,553
売上原価	3,226,203	3,531,475
売上総利益	718,200	742,077
販売費及び一般管理費	389,650	409,616
営業利益	328,549	332,461
営業外収益		
受取配当金	2,771	3,493
保険事務手数料	197	179
貸倒引当金戻入額	631	155
その他	—	23
営業外収益合計	3,600	3,851
経常利益	332,150	336,312
税引前四半期純利益	332,150	336,312
法人税、住民税及び事業税	121,156	181,551
法人税等調整額	△17,796	△76,588
法人税等合計	103,359	104,963
四半期純利益	228,790	231,349



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	9,692 千円	9,446 千円

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	4,225,009	108.8
情報システムサービス等	88,950	85.4
合計	4,313,959	108.2

(注) 金額は販売価格によっております。

## (2) 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	3,948,600	94.3	2,537,472	98.3
情報システムサービス等	55,698	68.4	91,003	89.0
合計	4,004,299	93.8	2,628,476	97.9

## (3) 販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	4,184,603	109.0
情報システムサービス等	88,950	85.4
合計	4,273,553	108.3

(注) 当第1四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株式会社野村総合研究所	938,939	23.8	1,092,798	25.6